



THE GLOBAL GOALS  
For Sustainable Development

After  
COVID19

持続可能ないわて・・自然資源で独立！！

大きな  
地方ビジネス

国連加盟国で岩手県より面積が  
小さい独立国は、40か国以上

次世代の豊かさの為に、今何をすべきか？

1. 再生可能エネルギー自給（電力・熱） ⇒ 500%  
（水力・地熱・風力・バイオマス・太陽熱（光））
2. 住宅の高断熱化（エネルギー貧困ゼロ）
3. バイオマス熱源による地域熱水供給
4. 食糧自給（農業・畜産業・水産業） ⇒ 500%
5. 林業振興と林産物の活用（CLT材利用など）
6. 生物多様性を守る（陸の豊かさ・海の豊かさ）

ESG投資

\* 人口減少でも「地域経済は豊かに」

ESG:「環境(Environment)」「社会(Social)」「ガバナンス(Governance)」



## 温暖化防止(省エネ・再エネ)

# いわての各主体で取り組むべきこと

After  
COVID19

(野澤の提言)

1. 県及び企業員・発電能力の倍増・水力拡大・地熱

### 私たちにできること

木造住宅と既存住宅の高断熱改修  
(エネルギーロス低減・エネルギー貧困脱却)

屋根上ソーラー発電・太陽熱利用

庭の緑化・RE100電力購入

電気自動車買い替え(蓄電池として利用)

・木質バイオマス暖房

がカギ

3.

2050年までにRE100を達成する

省エネ診断の受診と改修・敷地内緑化拡充

電  
Governance

## 心地よく豊かな素晴らしい自然「幸福な国いわて」

# CLT木造高層建築の豊かな時代へ Cross Laminated Timber

複合ビル 18階  
ノルウエー 85m



大林組研修施設(横浜)  
純木造免震構造  
(耐火建築物) 11階



仙台高森マンション  
三菱地所 10階

# 「Tower & Village」デンマーク 計画中のCLT材 320mの木造超高層ビル



# 岩手県本庁舎 1965年建設

12階建 延べ床面積約31,000m<sup>2</sup>、高さ60.6m



# 森林率77%のいわて CLT木造高層ビルの時代へ

鉄筋コンクリートに勝る  
高強度の木造CLT建築工法が心地よい社会に  
岩手の森林から持続可能な循環

## 提案

本庁舎 県産材木造 CLT 構造  
2045年 築85年 次世代へ建替え  
地上12階建、高さ60.6m  
延床面積31,000㎡(構造材2,000㎡?)

木造ハイブリッド構造(三井×竹中)  
地上17階建、高さ約70m、  
延床面積約26,000㎡(構造材1,000㎡)  
三井不動産 賃貸オフィスビル(2025年竣工)



# 化石燃料「0」地域を目指して

## 地域経済自立の切り札

After  
COVID19

(盛岡市で試算) 2015年国調

- ・ 1世帯当たりエネルギー支出額 約40万円/年  
× 約12万世帯 ÷ 480億円 (投資可能額)
- ・ 一般会計年度予算額 約1,700億円
- ・ 農業産出額 約185億円

地域の出資  
地域の利益  
地域が主体

再生可能エネルギーの地域産出と省エネ

- ・ バイオマス熱利用・太陽熱利用・小水力発電
- ・ ソーラー発電・バイオ燃料・水素燃料電池
- ・ 地域熱水供給 ・ 高断熱住宅でエネルギー最少化

- ・ 日本の化石燃料輸入額：約20～25兆円

# Backcasting ・ ! Forecasting ・ !

## 将来目標を定めてゴールを目指す

### バックキャストイング Backcasting

最初に将来の目標を定めて、その為に今何をすべきかを考えて実行。

- \* ゴールする山と時間を示して登山を始めます。  
足の遅い人は早くスタートして頂上を目指します。  
到着時間に差があっても皆が頂上を極める事が出来ます。

### フォアキャストイング Forecasting

現在ある仕組みの上にならって、それぞれが将来に向けて積み上げて実行。

- \* ゴールや日時を示さずに登山を始めます。  
皆は、それぞれの都合に合わせて手近な山に登ります。  
取り組みがばらばら、登る山もそれぞれ、  
目的の山は別なところであって、  
たまたま目標の山の近くに居た人たちだけが目標を達成する。





## 盛岡のシンボル・・・中津川

景観・生き物の多様性・清らかで豊かな水・四季の変化・やすらぎ





ハクセキレイ  
カワウ  
キジ  
コハクチョウ  
キンクロハジロ



シラサギ (ダイサギ)

アオサギ

カワアイサ

マガモ

オナガガモ

ヒドリガモ





カワガラス  
カワセミ  
ヤマガラ  
シジュウカラ



盛岡の生態ピラミッドの頂点  
この鳥が見られること  
生態系が安定している象徴



オオヨシキリ  
ノスリ・モズ



# クイズ です

## 茹でガエルの法則

(スタンレー・ホール1887)



- ・ 2匹のカエルを用意します
- ・ 二台のコンロと、水の入った二つのお鍋
  - ① 火の点いたコンロ
  - ② 点火前のコンロ夫々に水の入ったお鍋をかけます

①のコンロ 煮たったらカエルを入れる

②のコンロ 水の入ったお鍋にもう1匹を入れてから点火

Q : さてどちらのカエルが生き延びるでしょう？

- ・ **正解 : ① 熱くて・瞬間的に飛び出して無事**
  - ② 徐々に変化する温度に慣れてゆき  
飛び出す機会を失い「茹でガエル」になる

# ハチドリのはたとすずく

この物語は、南米アンデスの先住民に古くから  
伝わる短なお話です。

森が燃えていました  
森の生き物たちはわれ先にと逃げて行きました

でも・・・一羽のはたとドリだけは、いったりきたり  
くちばしで水のはたとすずくを一滴ずつ運んでは  
炎の上に落としてゆきます

動物たちがそれを見て「そんなことをして  
いったい何になるんだ」といって笑います

はたとドリはこう答えました  
「私は私のできることをしているだけ」



4 質の高い教育を  
みんなに



# 次世代を担う この子たちに幸を

《環境負荷を先送りしてはならない》

3 すべての人に  
健康と福祉を



8 働きがいも  
経済成長も



11 住み続けられる  
まちづくりを



13 気候変動に  
具体的な対策を



16 平和と公正を  
すべての人に



17 パートナーシップで  
目標を達成しよう



ご清聴ありがとうございました  
**生き物を大切に・・・私たちの豊かな社会**

NPO法人 日本ビオトープ協会  
東京都豊島区南大塚2-6-7(本部)